

Original Publications

- (11) Nagase, H.; Nakajima, R.; **Yamamoto, N.**; Hirayama, S.; Iwai, T.; Nemoto, T.; Gouda, H.; Hirono, S.; Fujii, H. Design and synthesis of quinolinopropellane derivatives with selective δ opioid receptor agonism. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **2014**, *24*, 2851-2854.
- (10) Nemoto, T.; **Yamamoto, N.**; Wada, N.; Harada, Y.; Tomotsu, M.; Ishihara, M.; Hirayama, S.; Iwai, T.; Fujii, H.; Nagase, H. The effect of 17-N substituents on the activity of the opioid receptor in nalfurafine derivatives. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **2013**, *23*, 268-272.
- (9) Fujii, H.; Nakajima, R.; Akiyama, J.; **Yamamoto, N.**; Hirayama, S.; Nemoto, T.; Gouda, H.; Hirono, S.; Nagase, H. Synthesis of new opioid derivatives with a propellane skeleton and their pharmacologies: Part 3, novel propellane derivatives with pentacyclic skeletons. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **2012**, *22*, 7697-7701.
- (8) Honda, T.; Arai, H.; **Yamamoto, N.**; Kazunori, T. Formal synthesis of scelerium alkaloids, (\pm)-mesembrine and (\pm)-mesembranol. *Heterocycles*, **2012**, *84*, 327-331.
- (7) Al-Mekhlafi, N. A.; Shaari, K.; Abas, F.; Kneer, R.; Jeyaraj, E. J.; Stanslas, J.; **Yamamoto, N.**; Honda, T.; Lajis, N. H. Alkenylresorcinols and cytotoxic activity of the constituents isolated from *Labisia pumila*. *Phytochemistry*, **2012**, *80*, 42-49.
- (6) **Yamamoto, N.**; Fujii, H.; Nemoto, T.; Nakajima, R.; Momen, S.; Izumimoto, N.; Hasebe, K.; Mochizuki, H.; Nagase, H. Synthesis of new opioid derivatives with a propellane skeleton and their pharmacology: Part 1. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **2011**, *21*, 4104-4107.
- (5) **Yamamoto, N.**; Fujii, H.; Imaide, S.; Hirayama, S.; Nemoto, T.; Inokoshi, J.; Tomoda, H.; Nagase, H. Synthesis of (-)-homogalanthamine from naltrexone. *J. Org. Chem.*, **2011**, *76*, 2257-2260.
- (4) Nemoto, T.; **Yamamoto, N.**; Watanabe, A.; Fujii, H.; Hasebe, K.; Nakajima, M.; Mochizuki, H.; Nagase, H. Synthesis of 6,14-epoxymorphinan derivatives and their pharmacologies. *Bioorg. Med. Chem.*, **2011**, *19*, 1205-1221.
- (3) Nagase, H.; Nemoto, T.; Matsubara, A.; Saito, M.; **Yamamoto, N.**; Osa, Y.; Hirayama, S.; Nakajima, M.; Nakao, K.; Mochizuki, H.; Fujii, H. Design and synthesis of KNT-127, a δ -opioid receptor agonist effective by systemic administration. *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **2010**, *20*, 6302-6305.

- (2) Nagase, H.; Yamamoto, N.; Nemoto, T.; Yoza, K.; Kamiya, K.; Hirono, S.; Momen, S.; Izumimoto, N.; Hasebe, K.; Mochizuki, H.; Fujii, H. Synthesis of a stable iminium salt and propellane derivatives. *J. Org. Chem.*, **2008**, *73*, 8093–8096.
- (1) Nagase, H.; Watanabe, A.; Nemoto, T.; Yamamoto, N.; Osa, Y.; Sato, N.; Yoza, K.; Kai, T. Synthesis of opioid ligands having oxabicyclo[2.2.2]octane and oxabicyclo[2.2.1]heptane skeletons. *Tetrahedron Lett.*, **2007**, *48*, 2547–2553.

International Presentations

- (2) Ryo Nakajima, Naoshi Yamamoto, Junko Akiyama, Hideaki Fujii, Toru Nemoto, Hiroshi Nagase, Design and synthesis of new type of opioid derivatives with propellane skeleton and their pharmacologies, Italian-Japanese International Seminar for Neuroscience, Sep 2011, Sendai.
- (1) Naoshi Yamamoto, Hiroshi Nagase, Synthesis of a Novel Opioid Compound by Rearrangement of Morphinan Skeleton, The 19th French-Japanese Symposium on Medicinal and Fine Chemistry, May 2007, Toyama.

National Presentations

- (38) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、長瀬博、プロペラン骨格を有する新規五環性化合物の合成とその構造活性相関、第 32 回メディスナルケミストリーシンポジウム、2014 年 11 月、兵庫
- (37) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、合田浩明、広野修一、長瀬博、 δ 選択的プロペラン型キノリン誘導体の設計・合成および薬理作用、第 40 回反応と合成の進歩シンポジウム、2014 年 11 月、宮城
- (36) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、長瀬博、プロペラン骨格を有する新規五環性化合物の合成とその構造活性相関、第 34 回複素環化学討論会、2014 年 9 月、北海道
- (35) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、合田浩明、広野修一、長瀬博、 δ 選択的プロペラン型キノリン誘導体の設計・合成および薬理作用、第 34 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム、2014 年 9 月、東京
- (34) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、合田浩明、広野修一、長瀬博、 δ 選択的プロペラン型キノリン誘導体の設計・合成およびその薬理作用、第 31 回メディスナルケミストリーシンポジウム、2013 年 11 月、広島
- (33) 中嶋龍、山本直司、岩井孝志、平山重人、根本徹、藤井秀明、長瀬博、プロペラン骨格を有する新規五環性化合物の合成とその構造活性相関、第 39 回反応と合成

の進歩シンポジウム、2013年11月、福岡

- (32) 中嶋龍、山本直司、平山重人、岩井孝志、根本徹、藤井秀明、合田浩明、広野修一、長瀬博、プロペラン-キノリン型 8 選択的化合物の設計・合成およびその薬理作用、第 43 回複素環化学討論会、2013 年 10 月、岐阜
- (31) 高山朋子、白川佳奈、山本直司、杉田和幸、モンタニン型アルカロイドの合成研究、第 57 回日本薬学会関東支部大会、2013 年 10 月、東京
- (30) 山本直司、本多利雄、モンタニン型アルカロイドの合成研究、日本薬学会第 132 年会、2012 年 3 月、北海道
- (29) 中嶋龍、秋山絢子、山本直司、根本徹、平山重人、藤井秀明、長瀬博、オピオイド系プロペラン型化合物の構造活性相関、第 7 回北里化学シンポジウム、2011 年 12 月、東京
- (28) 中嶋龍、秋山絢子、山本直司、根本徹、平山重人、藤井秀明、長瀬博、プロペラン型オピオイド誘導体の設計・合成及びそれらの薬理評価、第 37 回反応と合成の進歩シンポジウム、2011 年 11 月、徳島
- (27) 今出慧海、山本直司、猪腰淳嗣、供田洋、長瀬博、(-)-homogalanthamine の全合成および誘導体の薬理作用、第 37 回反応と合成の進歩シンポジウム、2011 年 11 月、徳島
- (26) 中嶋龍、秋山絢子、山本直司、根本徹、平山重人、藤井秀明、長瀬博、オピオイド系プロペラン型化合物を用いた新規環化骨格の合成、第 41 回複素環化学討論会、2011 年 10 月、熊本
- (25) 今出慧海、山本直司、猪腰淳嗣、供田洋、長瀬博、(-)-homogalanthamine の全合成および誘導体の薬理作用、第 41 回複素環化学討論会、2011 年 10 月、熊本
- (24) 山本直司、本多利雄、モンタニン型アルカロイドの合成研究、第 55 回日本薬学会関東支部大会、2011 年 10 月、千葉
- (23) 中嶋龍、秋山絢子、山本直司、根本徹、平山重人、藤井秀明、長瀬博、オピオイド系プロペラン型化合物を用いた新規環化骨格の合成、第 55 回日本薬学会関東支部大会、2011 年 10 月、千葉
- (22) 今出慧海、山本直司、猪腰淳嗣、供田洋、長瀬博、(-)-homogalanthamine の全合成および誘導体の薬理作用、第 29 回メディシナルケミストリーシンポジウム、2010 年 11 月、京都
- (21) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、オピオイド系プロペラン型化合物の合成とその薬理作用、第 36 回反応と合成の進歩シンポジウム、2010 年 11 月、愛知
- (20) 今出慧海、山本直司、猪腰淳嗣、供田洋、長瀬博、(-)-homogalanthamine の全合成および誘導体の薬理作用、第 54 回日本薬学会関東支部大会、2010 年 10 月、東京
- (19) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、オピオイド系プロペラン型化合物の合成とその薬

- 理作用、第 54 回日本薬学会関東支部大会、2010 年 10 月、東京
- (18) 山本直司、長瀬博、ナルトレキソンを出発物質とするホモガラントミン及びガラントミンの合成研究、第 6 回北里化学シンポジウム、2009 年 12 月、神奈川県
 - (17) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、プロペラン型化合物の合成、第 6 回北里化学シンポジウム、2009 年 12 月、神奈川県
 - (16) 山本直司、長瀬博、ナルトレキソンを出発物質とするホモガラントミン及びガラントミンの合成研究、第 58 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム、2009 年 11 月、新潟
 - (15) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、プロペラン型化合物の合成、第 28 回メディシナルケミストリーシンポジウム、2009 年 11 月、東京
 - (14) 山本直司、長瀬博、ナルトレキソンを出発物質とするホモガラントミン及びガラントミンの合成研究、第 35 回反応と合成の進歩シンポジウム、2009 年 11 月、石川
 - (13) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、プロペラン型化合物の合成、第 35 回反応と合成の進歩シンポジウム、2009 年 11 月、石川
 - (12) 秋山絢子、山本直司、長瀬博、プロペラン型化合物の合成、第 53 回日本薬学会関東支部大会、2009 年 10 月、埼玉
 - (11) 山本直司、長瀬博、ナルトレキシソンの Grob 開裂を鍵反応とするホモガラントミン及びガラントミンの合成研究、第 57 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム、2009 年 5 月、東京
 - (10) 山本直司、長瀬博、ナルトレキソンを出発物質とするホモガラントミン及びガラントミンの合成研究、第 28 回メディシナルケミストリーシンポジウム、2009 年 11 月、東京
 - (9) 山本直司、木綿しのぶ、泉本直樹、長谷部光、望月英典、長瀬博、モルヒナン骨格の転位反応による安定なイミニウム塩の合成及びその薬理作用、第 27 回メディシナルケミストリーシンポジウム、2008 年 11 月、大阪
 - (8) 山本直司、与座健治、神谷健秀、広野修一、長瀬博、モルヒナン骨格の転位反応による安定なイミニウム塩の合成及びその性質、第 94 回有機合成シンポジウム、2008 年 11 月、早稲田
 - (7) 藤井秀明、花村新一、山本直司、石原茉莉奈、長瀬博、17-置換モルヒナン誘導体の合成と薬理作用、第 29 回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム、2008 年 8 月、富山
 - (6) 山本直司、木綿しのぶ、泉本直樹、長谷部光、望月英典、長瀬博、新規プロペラン骨格を用いたオピオイドリガンドの合成、第 26 回メディシナルケミストリーシンポジウム、2007 年 11 月、相模原
 - (5) 山本直司、長瀬博、モルヒナン骨格の転位反応により得られる安定なイミニウム

塩の結晶化と新規プロペラン型化合物の合成、第 5 回北里化学シンポジウム、2007 年 11 月、東京

- (4) 山本直司、長瀬博、モルヒナン骨格の転位反応により得られる安定なイミニウム塩の結晶化と新規プロペラン型化合物の合成、第 37 回複素環化学討論会、2007 年 10 月、長野
- (3) 山本直司、木綿しのぶ、長谷部光、望月英典、長瀬博、新規プロペラン型化合物の合成、第 51 回日本薬学会関東支部大会、2007 年 10 月、東京
- (2) 山本直司、長瀬博、モルヒナン骨格からの転位反応による新規骨格の創製、第 32 回反応と合成の進歩シンポジウム、2006 年 12 月、広島
- (1) 根本徹、山本直司、渡邊晃生、長瀬博、硫黄イリドによるビシクロ[2.2.1]骨格を有する 6,14-エポキシモルヒナンの創製、第 31 回反応と合成の進歩シンポジウム、2005 年 11 月、神戸